

1. 件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会
2. 日時：令和4年4月22日（金）10時00分～10時50分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
横山係長、高木係長、塩唐松係員
大辻室長補佐、新井安全審査官、高木技術参与（テレビ会議システムによる出席）
福島第一原子力規制事務所
木村原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所 担当5名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、資料に基づき、主に以下の説明があった。
 - 共用プールキャスク搬出入エリア天井クレーン（以下「天井クレーン」という。）の復旧について
 - ◇ 天井クレーンの状況
 - ✓ 3月16日の地震後、外観点検で2箇所に割れを確認していたギアカップリングカバーについては、予備品への交換を実施したこと。
 - ✓ その他、不具合が確認された部位以外に対しても、異常が無いことを確認したこと。
 - ✓ 4月20日に走行確認を行い、問題無く走行することを確認したこと。
 - ✓ 今後4月中に法定検査を行い、再使用する予定であること
 - ✓ 5・6号機の原子炉建屋5階天井クレーンでの異常はなかったこと。
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、以下のコメント等を行った。
 - 今回の天井クレーンの報告において、ギアカップリングカバー損傷に至った地震によるクレーンへの応力などのメカニズム及びそのメカニズムに基づく異常が顕在化した部位以外の調査内容が不十分であるため、再度検討し規制庁へ報告すること。

6. その他

資料：

- 共用プールキャスク搬出入エリア天井クレーンの復旧について
- 循環注水冷却スケジュール
- 使用済燃料プール対策スケジュール
- 燃料デブリ取り出し準備スケジュール

以上